



一足早い房総の春を告げる花の祭典 千葉県フラワーフェスティバルが開催！

第39回千葉県フラワーフェスティバル

- 期日：1月10日(木)～1月14日(月)※一般公開は11日(金)から
- 場所：そごう千葉店6階 催事場
- 主催：千葉県フラワーフェスティバル実行委員会
- 内容：千葉県花き共進会作品の展示、生産者による切花・鉢花の販売、各種体験イベント等

■ 迫力あるメインディスプレイで注目度UP！

今回で39回目となる千葉県フラワーフェスティバルが、千葉県花き園芸組合連合会、千葉県、千葉市、(公社)千葉県園芸協会、(一社)千葉市園芸協会から組織される千葉県フラワーフェスティバル実行委員会により1月10日～14日の5日間、そごう千葉店6階の催事場で開催されました(一般公開は11日から)。

開場には千葉県産の切花や鉢花を使って作られたメインディスプレイや千葉県のマスコット「チーバくん」のディスプレイを始め、本イベント内で開催された花き共進会の出品物など約580点もの花きの展示が行われ、来場者の目を楽しませました。展示された花きは、切花・鉢花・洋らん・観葉などの部門ごとにまとめられ、品目ごとに県内の産地や出荷期間などの情報が記載されたパネルが設置されるなど、来場者が花に関心を持ちやすい会場の作りとなっていました。

開催初日には、千葉県の滝川副知事らによるテープカットが行われたほか、先着100名への「ちばの花」プレゼントや生産者による花のチャリティー販売など様々なイベントが開催され、多くの来場者で賑わいを見せていました。また、2日目以降にも、アレンジメント教室や花の模擬ゼリ販売など、来場者に花への興味を持っていただくための様々なイベントが日替わりで予定されていました。



メインディスプレイ



チーバくんディスプレイ

■ 千葉県で最大規模の花き共進会も開催！

千葉県フラワーフェスティバルでは、一般公開の前日に県内最大規模の花き共進会が開催されます。共進会には毎年500点以上の出品があり、今回は県内全域から551点もの花きが出品されました。審査は、ストックやキンギョソウ、スターチスなどの切花1部、カーネーションやカラーなどの切花2部、カトレアやファレノプシスなどの洋らんの部、コニファー類などの観葉の部、シクラメンやベゴニアなどの鉢花の部といった5つの部門に分けて行われ、各部門から選出された77点の金賞の中から33点が農林水産大臣賞を始めとする特別賞を受賞しました。

特別賞を受賞した33点の出品物は専用のブースに展示され、多くの来場者の注目を集めていました。また、会場には共進会の受賞者リストや講評などをまとめた印刷物が配布されていました。印刷物には、各部門の出品状況や特別賞を受賞した作品受賞理由の説明などが記載されており、一般の来場者にも審査のポイントがわかるような工夫が行われていました。

本イベントでは、様々な体験イベントだけでなく、品目ごとの説明パネルの設置や共進会の講評等をまとめた印刷物の配布など、会場の各所に来場者が千葉の花に興味を持つような工夫が施されていました。



産地等の情報が記載されたパネル



滝川副知事らによるテープカット